

令和7年（2025年）3月7日

安平町

株式会社 CICAC



持続可能な地域公共交通の推進に向けた連携協定を締結

～地域住民も交通事業者も笑顔に。移動のセーフティネットの確保・充実を目指して～

安平町（町長：及川 秀一郎、以下「安平町」）とデジタルコミュニケーションを中心としたシステム開発を展開する株式会社 CICAC（本社：東京都渋谷区、支社及び業務拠点：群馬県桐生市、代表取締役：今氏一路、以下「シカク」）は、デマンドバスやハイヤーをはじめとした移動のセーフティネット確保及び充実を図るため、令和7年（2025年）3月5日に「持続可能な地域公共交通の推進に向けた連携協定」を締結いたしました。



本協定により、地域住民の重要な生活の足であるデマンドバスやハイヤーによる「移動のセーフティネット確保及び充実」、そして「おでかけ円滑化」を図るため、「人口1万人未満の小規模自治体における現在にも未来にも対応できるシェアシステムの共同開発」など、地域公共交通の活性化を目指した取組みを進めてまいります。また、安平町の価値をこれまで以上に高め、この先の持続的発展のために、この町を選んで良かった、暮らし続けてきて良かったと実感していただけるよう共に目指してまいります。

■連携協定の概要

1. 締結日

令和7年（2025年）3月5日（水） 同日に安平町役場にて調印式を執り行いました。

2. 目的

両者の相互連携と協働による活動を促進することで、安平町が目指す将来像「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち」の実現、特に人口1万人未満の地方部における持続的な公共交通及び MaaS の実現に向けた取組みを推進することを目的とする。

3. 連携事項

- (1) 安平町におけるおでかけ円滑化並びに移動のセーフティネット確保及び充実に関すること
- (2) 人口1万人未満の小規模自治体にも適合する「現在にも未来にも対応できる MaaS システム」の共同開発及び実証事業に関すること
- (3) その他本協定の目的を達成するために必要な事項

■本協定における締結の背景

人口約7,200人の安平町は、小規模自治体でありながらも鉄道をはじめバスやハイヤーなど交通事業者との役割分担と連携により公共交通ネットワークの確保を図ってきた自治体であり、安平町地域公共交通計画に基づき、その活性化に向け地域全体で取り組んできました。

そのような中でも、運転手等の担い手不足、デマンドバス事業における利用者の漸減、震災が引き金となったハイヤー空白地域の発生など、課題は山積しています。

この度、こうした課題解決に向け、交通事業者とともにデマンドバスとハイヤーの効果的かつ効率的な事業運営など移動のセーフティネット確保及び充実のための今後の方策を検討していたところ、令和6年11月に群馬県桐生市にある株式会社沼田屋タクシーとシカクが「地方タクシー事業者と共同で開発した地方発のAI配車システム」を運用開始したという情報を得ることができ、「安平町の現在にも想定される未来にも対応できる仕組み」であり、地域住民はこれまで以上に便利になり、交通事業者にとっても業務効率化等が期待できると現地視察でも十分に感じたことから、持続可能な公共交通の推進に向けた本協定の締結に至りました。

■具体的な取り組み内容

シカクが提供する地方都市ライドシェア・デマンド交通システム「MITT (ミット)」を、安平町の現在にも、想定される未来にも馴染むシステムとなるよう共同開発するとともに、実証事業等に取り組めます。

■安平町長よりコメント



安平町長 及川 秀一郎

安平町では黄色線区である JR 室蘭線活性化の取り組み、ハイヤー確保及び活性化のためのハイヤー運賃半額助成や地域おこし協力隊制度の活用など、多様な主体と連携しながら地域課題の解決に取り組んでおります。

この度のキーワードは「おでかけ円滑化」と「移動のセーフティネット確保・充実」。株式会社 CICAC との連携を通じて、町民や交通事業者の皆さんを笑顔にする取り組みにしていきたいと思いますと考えております。

■株式会社 CICAC 代表よりコメント



株式会社 CICAC 代表取締役 今氏 一路

「MITT」は、今後更に加速が予想される少子高齢化の日本において、地方の公共交通を守り「交通空白地ゼロ」を目指して群馬県の桐生市で令和6年11月からスタートしました。

公共交通の新しい取り組みはインバウンド対応として主に都市部を中心に行われていますが、ライフラインとしての公共交通の挑戦は、地方にこそ重要であり、急務と考えております。

安平町と MITT の今回の取り組みが、日本の公共交通の未来にとって非常に重要な事になると確認しております。

■北海道安平町について

「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち」を基本テーマに掲げ、恵まれた自然環境や立地条件などを活かしながら、将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまちを目指しています。

北海道安平町：<https://www.town.abira.lg.jp/>

■ ライドシェア・デマンド交通システム「MITT」について（株式会社 CICAC より）



「MITT」は、今後更に加速が予想される少子高齢化の日本において、地方の公共交通を守り「交通空白地ゼロ」を目指して弊社が開発いたしました。

公共交通は人間の尊厳を守る上で非常に重要なインフラの一つと考えます。今後の人口変動によってそのインフラが維持できなくなる将来を招かぬよう AI を活用して群馬県の桐生市で令和 6 年 11 月から運用されています。

MITT では他の類似サービスと違い、タクシー事業者さまと一緒に現場視点で開発している経緯があり、より本質的なシステムでみなさまのお役に立てると自信をもっております。

ぜひ MITT で安平町民のみなさまの生活がより豊かで安心したものになることを目指し、地域のみなさまに選ばれ馴染むよう尽力させていただきます。

MITT 説明ページ：<https://ptr.mitt.app/>

- プレスリリースに掲載されている会社名、サービス名などは各社の登録商標または商標です。
- プレスリリースに掲載されている内容、サービス、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

<本件に関する問い合わせ先>

安平町 政策推進課政策推進グループ 担当：高橋 TEL：0145-22-2751 / FAX：0145-22-2026

株式会社C I C A C M I T T事業部 代表：今氏 群馬県桐生市本町6-2 / mitt@cicac.jp